

## 浜村温泉館の早期再開に関する意見書(案)

浜村温泉は、今から約500年前に開かれた温泉地で、豊富な湯量とリュマチ、神経痛、婦人病、胃腸病、皮膚病などに効能がある名湯として、多くの観光客が訪れる気高地域を代表する観光資源としての役割を果たしてきました。

しかしながら、最盛期の昭和50年代には14軒営業していた温泉旅館が、年々減少して2軒となり浜村温泉街の振興が喫緊の課題となっていました。

このような中で、浜村温泉活性化の核として、平成15年に温泉街の東側に浜村温泉館が開設されたところです。以来、町内外からたくさんの方が訪れる拠点施設として親しまれてきたところですが、昨年10月に施設老朽化のため本年4月1日から当分の間、休館することが発表され、その点検、調査結果に基づき今後の施設のあり方が検討される予定と伺ったところです。

本地域において、浜村温泉は地域の宝であり、浜村温泉の活性化のシンボルとして、浜村温泉館はなくてはならない重要な施設です。

さらに、鳥取市新市域振興ビジョンに位置づけている「交流のまちづくり」を実現するためにも、平成29年度中に開通予定の山陰道鳥取西道路の浜村・鹿野温泉IC（仮称）から浜村温泉へ観光客等呼び込む重要な役割を果たす施設と考えています。

なお、浜村温泉館周辺には4カ所の共同浴場がありますが、当該集落の人のみが利用でき、部外者の人を制限しているため代替施設とはなり得ません。

については、本市の均衡ある発展に資するため、速やかに浜村温泉館の点検、調査に着手し、改修並びに早期再開を図っていただきますよう、気高地域振興会議の総意として要望いたします。